

## プログラム

- ♪ 三木たかし: アンパンマンのマーチ
- ♪ スッペ: 軽騎兵序曲(カット版)
- ♪ ルロイ・アンダーソン: ワルツィングキャット
- ♪ 楽器紹介
- ♪ ビゼー: カルメン前奏曲
- ♪ しゅうさえこ: あいうえおにぎり
- ♪ チャイコフスキー: バレエ「白鳥の湖」より  
「情景」「四羽の白鳥」  
「情景～終曲」
- ♪ ジミー・ドッド: ミッキーマウスマーチ
- ♪ グリーク: ペールギュントより「朝」

\*やむを得ない事情で曲目等を変更する場合があります。予めご了承ください。



## 東京21世紀管弦楽団

音楽を通して多くの人たちと手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めていくプロフェッショナルなオーケストラとして2019年設立。浮ヶ谷孝夫を音楽監督として迎え、東京国際フォーラム、東京芸術劇場、日本製鉄紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティなど都内の主要ホールで活動を展開している。これまでに2019年、オスカー新人賞歌手のステファン・ポップ、ファン・ディエゴ・フローレスほかビッグスターたちと共演。2022年8月、ミュージカル「ラ・ラ・ランド」6回公演、11月「BBC PROMS」に出演。2023年1月、「ホセ・カレーラス&ドミンゴ」コンサート、同年5月、4年ぶりに開催された「ラ・フォル・ジュルネ・TOKYO 2023」に出演するなど急速に活動の場を広げている。2024年5月「ラ・フォル・ジュルネ・TOKYO 2024」にも登場。定期演奏会は既に15回を数え、重厚なドイツ音楽を中心に圧倒的な成功を収めている。青少年のための音楽鑑賞会や、新企画「0才からのオーケストラコンサート」など教育的活動にも積極的に参加し、幅広い活動を展開している。

## NBAバレエ団

1993年に発足した埼玉で唯一のバレエ団。コロラドバレエ団プリンシパルとして活躍した久保絃一が芸術監督を務める。年間を通じて首都圏で公演を主催し、2014年「ドラキュラ」日本初演、2018年「海賊」(新垣隆による一部作曲・編曲)、2019年久保絃一版「白鳥の湖」、2021年ヨハン・コポー振付「シンデレラ」世界初演など斬新な企画で高い評価を受けている。また、毎年1月には「世界に羽ばたく若きバレリーナの育成」を目指し「NBA全国バレエコンクール」を開催。ローザンヌ国際バレエコンクールなどで優秀な成績をおさめるバレリーナを数多く輩出している。映画「翔んで埼玉」に男性ダンサーが出演するなど幅広い活動で注目を集める。

## 指揮者 辻博之

東京藝術大学音楽学部声楽科在学中から、オペラ指揮者としての研鑽を積み、2017年オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演にデビュー。その後も、九州交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、東京21世紀管弦楽団、The Orchestra Japanと共演を重ねる気鋭の指揮者である。2021年には東京芸術劇場シアターオペラ、團伊玖磨「夕鶴」を指揮し、「音楽現代」誌に「活躍を期待する指揮者」として取り上げられる。また、新国立劇場オペラ研修所公演「悩める劇場支配人」はイギリス「オペラ」誌上で「優雅かつ的確な細やかさで、チマローザの音楽に脈々と流れる歓喜を引き出した」と評され、オペラ指揮者としての頭角を表している。舞台作品への劇音楽の作曲や、クラシック以外のアーティストとの共演、ディズニー・オン・クラシック等、垣根の無い音楽活動も積極的に行う他、幼児や子供との音楽活動に力を注ぎ、千葉県文化振興財団との幼稚園出張コンサートは10年で100公演以上を数える。楽しいお話を交えた家族で楽しむコンサート、赤ちゃんと一緒に参加できる合唱団等、〈音楽を未来に繋げる〉活動も積極的に行なっている。

